

ポジティブアプローチワークショップ(試行)

医療安全推進活動は、医療に関する有害事象(医療事故)に関連して起動することが多くその性質上、事故調査、分析、事故後対応等、hindsight biasがかかる業務が多い。また業務内容のばらつきを少なくするためのルール設定、手順作成、標準化、遵守要求等も、職員に対して規制をかける方向の活動となる。

これら安全Ⅰ的活動はしばしば安全管理者側にとっても、職員側にとっても息がつまるネガティブな印象を与える方向性の活動となる。

一方、同じ報告事例を用いて安全推進活動を行う場合に安全Ⅱ的な視点でのアプローチ(仕掛け)はよりポジティブ(前向き)な印象を与える方向性の活動となしうる。

そのためにはレジリエンスエンジニアリング、Appreciative Inquiry (AI)、Just Cultureの基本的な概念の解説と、事例を用いた具体的な検討方法のワークを行う。

日時 2019年10月26日(土) 13時~17時

会場 日本医療機能評価機構 9階ホール
(東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル)

対象 医療安全管理者等、医療安全に携わっている方

定員 48名(お申し込み先着順)

参加費 無料(試行のため)

形式 講義、グループワーク

お申し込み方法やプログラムについては裏面をご参照ください

プログラム

- 1 イントロ:企画趣旨解説
- 2 レジリエンスエンジニアリング概論
- 3 前向きな事例分析(ポジティブインシデントレポート)活用方法
- 休憩
- 4 ジャストカルチャー(公正な文化)概論
- 5 グループワーク:実践へ向けての障害とそれを乗り越えるための方策
- 6 総括・閉会

講師

- 長谷川 剛 氏 [上尾中央総合病院]
辰巳 陽一 氏 [近畿大学病院]

ファシリテーター

- 大久保 典子 氏 [下関市立市民病院]
高塚 由紀子 氏 [総合病院聖隷浜松病院]
田中 健次 氏 [電気通信大学大学院
情報理工学研究科情報学専攻]
長島 久 氏 [富山大学附属病院]
廣幸 英子 氏 [有馬高原病院]
皆川 宗輝 氏 [横浜市立みなと赤十字病院]

*プログラムや講師、ファシリテーターは予告なく変更する場合があります。
詳細については協議会ホームページにてご確認ください

2019年8月30日(金) 15時 申込受付開始

協議会ホームページよりお申し込みください。
(会員IDとパスワードが必要です)

*ご登録いただいた個人情報は当機構の個人情報保護方針に基づき
適正に管理いたします